

◇会議報告◇

米国財務会計基準審議会（FASB）との 第 34 回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 まつした 松下 ひろし 洋

1. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2024年8月16日に米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第34回定期協議をノーワークで開催した。ASBJからは川西委員長、紙谷副委員長、山口常勤委員が参加した。FASBからは、Richard R. Jones 議長、Hillary H. Salo 副議長、Jackson M. Day テクニカル・ディレクター、及び Helen M. (Nellie) Debbeler テクニカル・ディレクター代理のほか、議題に応じて Frederick L. Cannon 理事、Susan M. Cosper 理事、Joyce T. Joseph 理事、及び担当スタッフが参加した。

なお、文中の発言者及び筆者の意見にわたる部分は、各人の私見であり所属する団体・組織の見解ではない。

2. 全体のスケジュール

日 程	議 題
8月16日	近況報告等
	電力購入契約（PPA）
	環境クレジット・プログラム
	持分法
	Predominant の概念の使用
	適用後レビュー
	債券の減損
	金融機関のキャッシュ・フロー計算書
	リース

3. 議事概要

(1) 近況報告等

国際関連情報

FASB 及び ASBJ の双方の代表者より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 損益計算書における費用の分解
- ソフトウェアコストの会計処理及び開示
- デリバティブの範囲の改訂
- 期中報告に関する狭い範囲の改善
- 2024 年アジェンダ協議

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 日本基準の開発状況
- 国際的な意見発信に関する活動状況

(2) 電力購入契約 (PPA)

ASBJ の代表者より、再生可能エネルギーを対象とするバーチャル電力購入契約 (Power Purchase Agreement (PPA)) に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(3) 環境クレジット・プログラム

ASBJ の代表者より、FASB の環境クレジット・プログラムの会計処理及び開示に関するプロジェクトにおける検討事項に対する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(4) 持分法

ASBJ の代表者より、国際会計基準審議会 (IASB) の持分法に関するプロジェクトにおける次の暫定決定についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 持分法適用会社との取引
- 減損

(5) Predominant の概念の使用

ASBJ の代表者より、複数の会計基準書で使用されている Predominant の概念に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(6) 適用後レビュー

ASBJ の代表者より、IASB の適用後レビュープロセスに関する評価及び適用後レビュープロセスの考えられる改善点について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(7) 債券の減損

ASBJ の代表者より、債券の減損に関する望ましい会計について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(8) 金融機関のキャッシュ・フロー計算書

ASBJ の代表者より、金融機関のキャッシュ・フロー計算書について識別された課題及び改善の可能性に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(9) リース

ASBJ の代表者より、次に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 将来の業績又は資産の使用に連動する変動リース料の会計処理
- サブリース収益の総額・純額表示の決定

4. 次回の予定

次回の定期協議は、2025 年の前半に東京で開催することが予定されている。

FASB オフィスで記念撮影



会議中の様子



以上